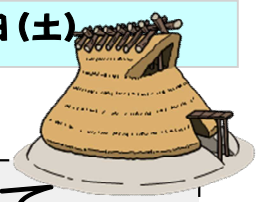




放課後等デイサービスSES 藤枝校 体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター
令和5年11月18日(土)



「学校の教科書で学んだことが、すぐに実践できて自分の作品と対比ができました。」

放課後等デイサービスSES藤枝校の児童生徒12人が、体験学習のために、センターの土曜開館日に合わせて来所し、ミニはにわ作りを行いました。

ミニはにわ作り体験



初めに、はにわと古墳時代について簡単に話しました。その後、ミニはにわの作り方を説明しました。

いよいよ作り始めます。袋から取り出した粘土を、へらで胴体用と部品用の二つに切り分けました。胴体用を2/3～3/4の大きさにするのが難しかったです。次に、胴体用の粘土をこねはじめました。土の粘土を触るのが初めてな子どもたちでしたが、楽しそうに粘土をこねていました。胴体を作っていると、表面が乾いてきてヒビが入るので、水をつけて表面をツルツルにしました。胴体ができると、手や鼻等の部品を作りました。胴体に対して手が長くなりすぎて、バランスをとるのが難しかったです。また、接着部分の粘土を串で荒らし水をつける等、部品をつけるときは、指導員の助けをかりながら、上手につけることができました。全員、思い思いの可愛いはにわを作ることができました。

「作り方が分かった。」

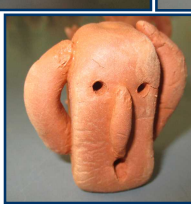


「簡単だと思っていたけど難しかった。」「もっと大きなはにわを作ってみたくなった。」

「いろいろな作品を作れて楽しかった。」



「口を作るのが難しかった。」



指導員の感想

「学校の教科書で学んだことが、すぐに実践できて自分の作品と対比ができました。はにわを作る体験が子どもたちにとって初めてで楽しめていました。不登校の子も参加できました。センターの職員さんには、とても丁寧に解説していただき、ありがとうございました。勾玉作り体験も、よろしくお願いします。」

